

# 学習成果の実践展開と共有

千葉県認知症介護指導者 広野義明

## 目的と到達目標

### 目的

これまでの研修成果を踏まえ、自施設での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。

### 到達目標

1. 本科目までの学習成果を実践に活用することができる。
2. 自分と認知症の人のこれまでの関わりのあり方を振り返ることができる。
3. 自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を明らかにすることができる。

## 自施設自習ワークシート

2日間の研修で深めた学びを実践し、感じたこと、考えたこと、気づいたこと（自施設自習ワークシート）をグループで共有する。

全6科目について共有ができるように「進行役」を決める。

\* 「生活支援のためのケアの演習1」が一番ボリュームがあります。